



2025年1月9日

各位

株式会社 北九州銀行

松鶴建設株式会社との「ポジティブ・インパクト・ファイナンス」契約の 締結について

北九州銀行（頭取 嘉藤 晃玉）は、松鶴建設株式会社（代表取締役 川田 和人）と「ポジティブ・インパクト・ファイナンス」契約を締結し実行いたしましたので、下記のとおりお知らせします。

ポジティブ・インパクト・ファイナンスとは、お客さまの企業活動が社会・環境・経済にもたらすインパクト（ポジティブな影響とネガティブな影響）を包括的に特定・評価し、お客さまの企業活動を通じたポジティブな影響の創出・継続、ネガティブな影響の抑制・緩和の支援を目的とする融資商品となります。

当行は、地域金融機関としてSDGs/ESGへの取り組みを強化し、様々な事業活動を通じて、多様な課題の解決に取り組み、地域の価値向上を実践していくことにより、持続可能な社会の実現に貢献してまいります。

記

1. 企業概要

企 業 名	松鶴建設株式会社
所 在 地	福岡県福岡市博多区博多駅前1丁目5-1
代 表 者	川田 和人
業 種	総合土木建築工事業
サステナビリティ向上に向けた取り組み等	当社は、1995年に創業し、公共工事を主体に河川や橋梁等難易度の高い工事に積極的に取り組み、実績を積み上げてきました。「過去を反省し、現在をしっかりと見つめ、将来に夢を持って生きる」を社是として掲げ、生活に関わりの深い、地に残る土木・建築物の工事業者を目指しながら、次のようなサステナビリティ活動を行っております。 【社会面での活動】 施工品質の向上、現場の安全性確保（労災ゼロ）、人材育成の強化、賃金の上昇、ワークライフバランスの確保、健康経営に向けた取り組み、多様な人材の活躍推進、学生への教育実施、「福岡市こども未来基金」への寄付 【経済面での活動】 零細・中小企業の持続的な繁栄に向けた取り組み 【環境面での活動】 混合廃棄物量の削減、水質汚濁・土壌汚染防止に向けた取り組み、環境配慮型施工の推進、地域貢献活動の実施

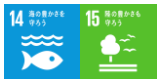
2. ローン概要

契 約 日	2024年12月30日
融 資 金 額	1億円
期 間	5年

3. 目標とKPI

ポジティブインパクトの創出・継続、ネガティブインパクトの抑制・緩和の状況を測定・管理できるように以下のKPIを設定しております。

NO.	コア・インパクト	目標・KPI / 直近の実績	KPI 達成に向けた具体的な取組	インパクトの種類 関連する SDGs
1	高品質な施工の実施	【工事評点の高評価維持】 - 国土交通省管轄工事評点 平均 82 点以上 - 福岡県管轄工事評点 平均 82 点以上 - 福岡市管轄工事評点 平均 84 点以上 - 東京都土木管轄工事評点 平均 73 点以上 - 東京都建築管轄工事評点 平均 72 点以上 - 東京都住宅供給公社管轄工事評点 平均 69 点以上 <直近期実績（平均点/施工件数）> - 国土交通省管轄工事評点 81.75 点/4 件 - 福岡県管轄工事評点 84 点/1 件 - 福岡市管轄工事評点 83.5 点/1 件 - 東京都土木管轄工事評点 73.425 点/4 件 - 東京都建築管轄工事評点 - 点/0 件 - 東京都住宅供給公社管轄工事評点 66.55 点/2 件	- 品質マネジメントシステムを適切に運用し、専門エキスパートによる徹底した品質管理と安全対策により工事評点の維持・向上を図っていく - 予防処置や着工前会議の実施など、予想される事項への事前対策を徹底する	【社会面】 「エネルギー」「住宅」「移動手段」「自然災害」における PI の創出・継続 【経済面】 「インフラ」における PI の創出・継続 
2	労働安全衛生の確保	【労働災害の絶無】 - 労働災害発生件数 0 件の維持 <直近期実績> - 労働災害発生件数 0 件	協会会社への安全方針伝達や指導を徹底し、管理者による安全パトロールの実施や安全講習の受講により、労働災害が発生しない体制づくりを行う	【社会面】 「健康及び安全性」における NI の抑制・緩和 
3	魅力ある職場環境の整備	【1級施工管理技士 資格保有者数の増加】 - 工事部の資格保有者数 47 名 - うち若手社員の保有者数 14 名 ※若手社員＝年齢 35 歳までの社員 <直近実績> - 工事部の資格保有者数 33 名 - うち若手社員の保有者数 3 名	- 資格取得に向けたサポートと、取得後の資格手当等（月額 10 万円以上）の支給により、資格取得の動機付けを行う - 若手社員には、ベテラン社員によるフォローアップ体制を整え、早期に現場責任者を担う機会を与える	【社会面】 「雇用」「賃金」における PI の創出・継続 
4	協会会社との連携強化	【安全協会の会員数の増加】 - 会員数 80 社 <直近期実績> - 会員数 60 社	工事請負契約時に安全協会への加入を案内する。また、安全大会での優秀企業への表彰実施など協力企業同士が相互研鑽できる体制を整備し、協会会社の成長に寄与する活動を継続する	【経済面】 「零細・中小企業の繁栄」における PI の創出・継続 

5	施工による 環境負荷 への対応	【油脂漏出事故の絶無】 ・油脂漏出事故件数 0 件の維持 <直近期実績> ・油脂漏出事故件数 0 件	・汚濁防止膜を使用することで水質汚濁や土壌汚染を防ぐほか、船舶機械の給油時には吹きこぼれや漏洩を防止する対策を徹底する。汚濁防止膜やオイルフェンスなどの資材を常に完備し、緊急時に備えた対応も行う	【環境面】 「水域」「土壌」における NI の抑制・緩和 
6	廃棄物の 抑制	【売上あたり混合廃棄物量の抑制】 ・土木 1.55 t/億円以下の維持 ・建築 3.49 t/億円以下の維持 <土木> ・直近 5 期平均 1.55 t/億円 <建築> ・直近 5 期平均 3.49 t/億円 【地域貢献活動の継続】 ・年 2 回以上 （周辺の清掃活動/環境 PR 活動） <直近期実績> ・2 回実施 （2023 年 10 月、2024 年 7 月に 清掃活動実施）	・施工現場で再利用品置き場や鉄などの有価物の分別置き場を設置し、分別が適正に行われる環境を整備する ・その他の廃棄物においても分別可能な廃棄物が混合廃棄物に誤って入らないように収集ボックスを設置し、混合廃棄物処分量の適正化に努める ・各部門で地域貢献活動を実施し、地域の環境美化や従業員の環境意識向上につなげる	【環境面】 「廃棄物」における NI の抑制・緩和 

4. 山口フィナンシャルグループのマテリアリティ

山口フィナンシャルグループは、持続可能な社会の実現に貢献していくために、「グループサステナビリティ方針」を策定し、この方針に基づき、重点的に取り組むべき E S G 課題である「マテリアリティ」を特定しております。本件は、12 のマテリアリティの中で①～④「地域社会・経済活性化への取り組み」、⑤～⑦「環境保全への取り組み」の実現に資する取り組みです。

 地域社会・ 経済活性化への 取り組み	①人口減少・少子高齢化への対応 ②地域におけるイノベーション創出、 地域産業の成長サポート ③地域コミュニティとの連携強化 ④商品・サービスの安全性と品質向上	 環境保全への 取り組み	⑤省資源・省/創エネルギーへの対応 ⑥大気汚染・気候変動への対応 ⑦環境に配慮した商品・サービス開発
 役職員全員の 働きがいへの 取り組み	⑧人材育成・研修機会の創出 ⑨安心・安全な労働環境作り ⑩多様な人材の活躍 （ダイバーシティ&インクルージョン）	 強固な 経営基盤づくり への取り組み	⑪ガバナンス体制・内部統制の強化 ⑫経営の透明性向上と説明責任

以 上

【本件に関するお問い合わせ先】

北九州銀行 事業性評価部
担当：新田 TEL：093 - 513 - 5393